

第3回 施設部会 会議報告

日 時:令和8年2月16日(月)

16時30分～

場 所:川岸小学校 多目的室

○次 第

1. 開会
2. 仮設校舎移転終了に伴う課題及び今後の検討事項について
3. 2 期工事の仮設計画について
4. その他
5. 閉会

○会議の内容

①仮設校舎移転終了に伴う課題及び今後の検討事項について

- ・今回の小学校移転作業では、職員の本来の業務を超える大きな負担があった来年度の引っ越しに向け、早期の検討と準備が必要である。
- ・次回は中学校と小学校が合同で行う必要があり、体育館の備品移動や給食室の引っ越しなど、より煩雑な作業が予想されるため、業者への依頼を含めた具体的な計画を早急に立てる。
- ・合同職員室の改修については、夏休み期間を利用して電気工事等を行う。机の配置を 90 度変更し、フリーアドレスを導入する計画である。

②2期工事の仮設計画について

【全体のスケジュール確認】

令和8年10月から11月にかけて、体育館に保管されている備品を改修済みの教室へ移動させる作業が発生する。

【給食室の対応】

令和9年4月以降、小学校の給食室を解体するため、その前に備品を他校へ移設する調整が必要となる。

【校舎の引き渡し】

令和9年2月末に校舎の検査・引き渡しを受け、春休み中に仮設校舎からの本引っ越しを行い、令和9年4月の開校に間に合わせる。

③安全対策と騒音への配慮

- ・大型車両の通行ルートを変更し、一部西部中学校側から進入させる。児童・生徒の動線を確保し、交通誘導員を配置して安全を確保する。
- ・仮設校舎での騒音(工事音や上階の足音)が予想以上に大きく、児童・生徒への心理的影響も大きい。

○会議で出た意見について

【工事の定例打合せ会への参加について】

・西部中学校側も川岸小学校同様に教頭先生だけでなく、学校事務の先生も出席いただきたい。西部中学校にも影響が出るため、少なくとも一人は参加できる体制をお願いしたい。

【移転・作業負担について】

・「川岸学園」という新しい学校を創るという意識を、小学校だけでなく中学校の先生方や教育委員会も共有し、自分事として協力体制を築くべきである。
・作業を年度末に集中させるのは今の業務的に無理があるため、夏休みや冬休みを利用して分散して進める必要がある。

【合同職員室について】

・8月の工事に合わせて新しい備品(机等)を発注し、夏休みの段階でレイアウトを完成したらどうか。年度末の負担が軽減されるのではないか。
・西部中学校の教職員の机は一時的に保管する場所を検討していただきたい。11月の体育館からの移動に併せて、西部中学校から小学校へもってくるのがよいか。
・中学校の先生方にも、早い段階でスケジュールの詳細(いつ、どこが使えなくなるのか等)をしっかりと共有していく。
→定例の打ち合わせ会へ出ていただき、こまめに情報共有を。

【郷土資料の保存について】

・川岸小学校には明治期からの貴重な郷土資料や民俗資料が多数保存されている。単に新しい学校にするだけでなく、これらをいかに保存・展示し、活用していくかが課題である。
・学校内での収納に限界がある場合、蚕糸博物館等の文化財部局との連携も検討する必要がある。

○今後の進め方

・教職員一人ひとりが今後のスケジュール内容を理解し、自分ごととして意識してもらうよう、教育委員会及び学校でそれぞれ行うべきこととよりシンプルにまとめた工事スケジュール表を教育委員会で作成する。
→作成したスケジュールは令和8年度の新体制で先生方に共有する。

○次回の予定

・作成したスケジュールが出来次第、先生方にも共有する。その後、調整事項の確認や課題を精査し、進めていく。